

郵便はがき



〒四二六〇〇二五  
藤枝市藤枝四二一七  
大慶寺 大場正昭  
FaxTel  
○五四一六四一〇二九  
○五四一六四一六二二六

## 今年も 東海道音楽祭

主催 藤縁

◆期日 5月3日(祝 火)

◆時間 10時～20時30分

◆予定

- ・10:00-15:00 クラシックコンサート
- ・10:00-16:00 マーケット
- ・10:00-20:30 寺カフェ
- ・10:00-20:30 フードコート
- ・18:00-20:30 キャンドルナイトコンサート

※詳細お問い合わせ下さい

おしゃかさまの誕生日・花祭り法要  
例年通り今年も「花まつり法要」を営み、甘茶をかけてお祝いします。ご参加をお待ちしています。

○期日 4月12日(火)

○時間 午後1時

○場所 大慶寺本堂



別世帯の子供、お孫様等にも法話羹をお届け致します。申込は寺まで。

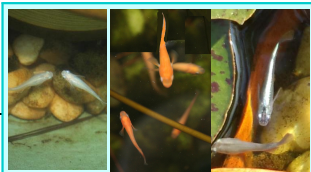
緑のおじさん

一般のお宅では滅多にないと思うが、寺に浮浪者が食べ物を求めてやってくる。

彼がはじめて寺に来たのは、5年位前だろうか。本名は知らない。年は70才過ぎである。定職無し、住まいも無し。足が悪いようである。いつも片足を引きずって歩いている。昨年あたりからは毎日やってくる常連だ。

数年前の冬、「とても寒いので何か着るものはないか」と言う。確かにその数日は零度前後の日が続いた。本当に凍死するかもしれないと、大昔の学生時代に着ていた古い緑のダツフルコートを買った。その冬、街を歩いてるおじさんを見ると、緑のコートを着ている。この姿が妙に目立つのだ。寺ではこれ以降「緑のおじさん」と呼ぶようになった。

ある時、緑のおじさんが、食べ物ももらって当然のような顔をしているので、「おじさん、食べ物を買って渡すことができるのは、多くの人を寺を支えてくれているお陰なのだから、



春です。メダカが動き始めました。

本堂の仏さんに感謝しなければだめだよ」と言うと、「はい、分かりました」と素直に答えた。

それ以来、寺の門を入ったところで、本堂に向かって合掌し、お辞儀をするようになった。そして帰るときも本堂に向かって一礼して帰る。その調子、その調子と安堵した。

日が経つにつれ、門を入ったところでメモを取り出し、ぶつぶつ言うようになった。それも日に日に長くなり、最近では数分ぶつぶつ言っている。何を言っているのかとても気になっていた。そんなある時、偶々ある人が緑のおじさんの横を通った。「ぶつぶつ：母親の葬儀の香奠を持って逃げてすいません。ぶつぶつ：」と言っていたそうだ。

いやいや驚いた。そんなことがあったのか。色々な生き方はあるけれど、どんな生き方でも忘れてならないのは、懺悔と感謝。これを忘れてしまっただけではないと緑のおじさんが来る度に思う。